



2021年12月15日、イタル成城・生活介護事業部にて、「イタル成城のアート活動を考える」の講義を開催。開設以来、アート活動を支えていただいている金子光史先生をお迎えしました。

明けましておめでとうございます。旧年中は社会福祉法人いたるセンターに多大なるご支援ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。年頭に当たり、令和3年度の事業進捗状況についてご報告申し上げます。

令和3年6月29日開催の理事・評議員会において、新たに理事6名、監事2名、評議員8名を選任、新理事長には谷山勝崇が就任しました。法人の理念や事業をしっかりと継承し、持続可能な組織作り邁進してまいります。

以上、健全で安定的な財務基盤を確立するとともに、法令等遵守の徹底、人権の尊重、包括的支援の充実、サービスの質の向上、安心安全な環境整備に努め、多様な地域福祉ニーズに添えてまいります。本年も変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



社会福祉法人いたるセンター 令和3年度事業進捗報告

社会福祉法人いたるセンター 理事長 谷山 勝崇

目次 contents

- 01 社会福祉法人いたるセンター 令和3年度事業進捗報告 谷山勝崇理事長
02 事業所通信 各事業部から
03 * 阿佐谷福祉工房 * あけぼの作業所 * 目黒本町福祉工房 * イタル成城 * パン工房ブクブク * 包括ケアセンター・グループホーム
04 令和3年度第3回職員研修、11月13日に開催。採用関連情報

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。
「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣意でありです。
年会費 1口5千円(何口でも可)
郵便振り込み 001100712892
問合せ 339217346 事務局 山本まで

SDGs推進室

室長 渡邊 菜都

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

昨年後半は、新型コロナウイルスの感染状況に落ち着きが見え、少しずつ日常を取り戻しつつ、感染対策を行ってまいりました。今年こそ日常を取り戻せる一年になることを祈りつつ、気を抜かず感染対策を行ってまいります。

当事業部が障害者雇用のフォローアップをしている三井不動産リアルティ株式会社の荻窪事務所では、感染状況に応じて50〜70%の出勤と在宅勤務で感染防止対策を行ってきました。出勤率の変化によってメンバーの皆さんの体調や生活面に影響がなにか心配されましたが、今のところ大きな影響を受けずに業務に従事できております。

慣れてきたところに心身に影響が出る人が多いので、引き続きメンバー皆さんの体調、メンタル面、生活リズム等注意を払ってサポートしてまいります。と思います。

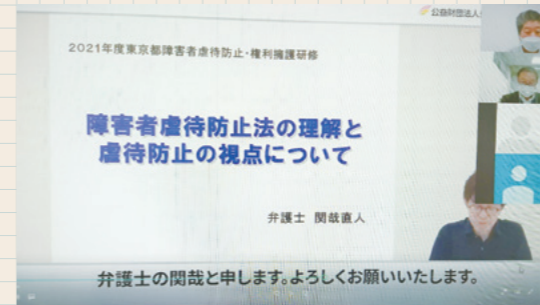
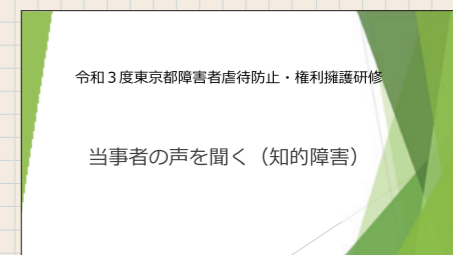


令和3年度第3回職員研修、11月13日に開催。

「東京都障害者虐待防止・権利擁護研修」の伝達研修をはじめ、現場に臨む職員のための実践的な研修となりました。

令和3年11月13日(土)、令和3年度第3回職員研修を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今回もZOOMによるリモート研修となりましたが、178名の常勤職員が参加。今回は「令和3年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修」の「伝達研修」を中心に、「虐待対応状況調査報告」、「当事者の声を聞く(精神障害・知的障害)」、「障害者虐待防止法の理解と虐待防止の視点について」の動画を視聴し、すまいる高井戸・春山陽子センター長の解説を受けました。

支援の実際(帰宅〜就寝)」(坂梨康夫・統括リーダー)を紹介。共同生活援助の支援サービスの流れを動画で視聴。さまざまなサービスを連携し、ご利用者様の地域生活を安全に豊かにする支援の在り方を共有しました。今回の受講後アンケートでも、テーマ・レクチャーともに95%以上の満足度を得ることができました。



講義「障害者虐待防止法の理解と虐待防止の視点について」では小さな出来事を共有する意識が重要であることを確認しました

まとめ
> 虐待の要因は「意識」「環境」「専門性」
> 小さな出来事は「意識」の問題
> 小さな出来事を現場で共有し、本人の権利擁護について一緒に考え見直していく取組みは、「環境」の改善、「専門性」の向上につながる

虐待の要因は「意識・環境・専門性」で、本人の権利擁護の共有と見直しとその改善と向上につながることを学びました

いたる広報委員

発行責任者=谷山 勝崇
社会福祉法人いたるセンター
〒167-0032
東京都杉並区天沼1-15-18
TEL: 03-3392-7346
FAX: 03-3391-8039
Eメール: info@itarucenter.com
HP: http://www.itarucenter.com/
発行日/2022年1月15日
ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。
いたる広報委員まで。



就職合同説明会(新卒対象)
・キャリアタス福祉フォーラム | 2022年1月22日(土) TKPガーデンシティ渋谷
・キャリアタス福祉フォーラム | 2022年2月12日(土) TKPガーデンシティ渋谷
・マイナビ医療福祉就活イベント | 2022年3月3日(木) ベルサール新宿グランド
・キャリアタス福祉フォーラム | 2022年3月10日(木) TKPガーデンシティPREMIUM池袋
・あさがくナビ・就職博 | 2022年3月28日(月) 都立産業貿易センター浜松町館
インターンシップ(新卒対象)
障がい者施設にて実際に支援業務の体験および先輩職員との交流ができます!
日時: 2022年1月13日(木) 10:00~12:00 @イタル成城
障がい者施設見学ツアー&選考会(新卒対象)
日時: 2022年2月3日・17日・24日(木) 各10:00~ 集合場所: あけぼの作業所
※お問合せ・お申込みは、法人本部・人事採用担当: 山本義彦・中川まで
電話: 03-3392-7346 Eメール: jinji@itarucenter.com

見学ツアーのみ参加でもOKです!

各事業部長 施設長 年頭所感

あけぼの作業所

施設長 高木 知子

明けましておめでとうございます。謹んで、新年のご挨拶を申し上げます。コロナ禍にあり、行事や宿泊研修など中止にしたものも多いですが、危険を回避し、安全第一で工夫をしながら活動を行っております。今後もご利用者様が安心して活動が出来るように、考えながら行うことが課せられているのではないかと思います。これまで、お陰で感染者を一人も出さずともな

く、過ごさせていたいております。あけぼの作業所は、ほとんどのご利用者様がマスクを着用しており、2回のワクチン接種も終えております。一日に三回の消毒も継続し、今後も気持ちを緩めることなく、ご利用者様が安心して通所できることを目標に職員一丸となってあたつてまいります。

たくさんの方から支えられて、運営出来ていることを心より感謝申し上げます。今後もご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

パン工房プクプク

統括リーダー 池田 史暢

旧年中は多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。さて、昨年はチョコレート事業部からのご利用者様も加わり、製造・販売それぞれの部署で日々業務に携わっていただいております。当初は混乱も見られましたが、ようやく落ち着いてきた感じがあります。

令和3年は区内保育園からの発注のおかげで、10月以降の生産量が非常に多くなりました。今年には中野区や世田谷区からの保育事業所の新規獲得

に力を注ぎたいと思います。店舗は前年並みですが、品質の改良を今後進めていきたいと考えています。外販は未だにコロナ前の状態には戻っていませんが、阿佐ヶ谷駅高架下にある「にぎやかな風」を強化して、今まで以上に地域に根差していくことを約束したいと思っております。

千支である壬寅(みずのえとら)年にちなみ、当事業所が華々しく生まれるようにスタッフ一同邁進してまいりますので、引き続きご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

サポートウイズ

マネジャー 塚田 充昭

皆様方におかれましては、希望に満ちた新春をお健やかに迎えのこと心からお慶び申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界的な脅威をもたらした、特に医療現場への影響は甚大でしたが、それ以上に変異型ウイルスの対策に追われていることは周知の事実です。本年は、サポートウイズが阿佐谷北2丁目において、総合相談支援センターとして事業所を開設して2年目となりますので、今以上に、医療と介護、相談支援の有機的連携を軸とした、アウトリーチ業務を拡充させていきたいと考えております。

そしてまた本年度は、新たな医療的サービス事業への挑戦も準備しております。今後もサポートウイズは、地域課題の解決に資するべく、在住・在勤・サービス事業者の連携を密に展開するような事業を思案してまいります。本年も何卒ご愛顧のほど何卒宜しくお願いいたします。

包括ケアセンター・グループホーム

センター長 白瀧 則男

あけましておめでとうございます。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、グループホームでは私を含め職員2名、入居者4名が感染し、通所先や所属ホームに多大な負担を与えてしまいました。

また、新規開設したグループホームでは、見学や体験利用する

ることができずに入居予定が大幅に遅れ、予算計画が未達成になってしまいました。今年度の残り3か月は感染症をおさえ、グループホームの定員を充足させ、来年度の足掛かりにしたいです。

既存のグループホームの老朽化に対しては、5年以内に建て替えや移転新築を完了し、安心して終末まで過ごせるグループホームとしていきます。

今後ともどうぞよろしく願います。

イタール成城

施設長 五木田 義之

新年明けましておめでとうございます。お陰様で赴任して一年が経ちました。

心的時計では、この一年が人生で一番体感的に早い一年のように感じています。異動したことが大きいのですが、何より一番印象的だったことは海外技能実習生の皆さんの活躍ぶりです。イタール成城・バンブル・みつばちでフィリピンとベトナムから各2名、男女4人が在籍しています。話すこともカタカ

ナや漢字もバツチリです(年末の扶養控除申告書の記入には大変苦労されました)。異国の地で、コミュニケーションを取りながら、ご利用者様の特別な想いやニーズを汲み取り応えている姿には、並々ならぬ日々の努力があるだろうことを思い知らされます。彼らを思えば事業所間異動など些末な出来事に過ぎません。機会があれば別号でご紹介したいと思います。

グロババルなチームで今年も皆で成長できたらと思います。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

クローバー・マルコ

所長代理 仙石 宏樹

新年あけましておめでとうございます。

クローバーのご利用者様の皆様におかれましては私たちが行っている新型コロナウイルスの対策にご協力いただき誠にありがとうございます。ご利用中の不便をおかけしますが終息まで引き続きご協力をお願い申し上げます。

さてこの度クローバーは『地域生活支援拠点等を担う事業所』として手を挙げる事とさせていただきます。

いただきました。これによってご利用者様にショートステイの緊急利用の必要性が生じた時にまず連絡をいただく事業所として紹介していただけることとなりました。

現在クローバーでは常勤職員4名と事業所始まって以来の少人数での運営とさせていただきます。職員体制上、緊急時のご期待に沿えないこともあるかと思いますが、地域のご利用者様が日常を安心して過ごせる事業所として精一杯対応してまいりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

目黒本町福祉工房

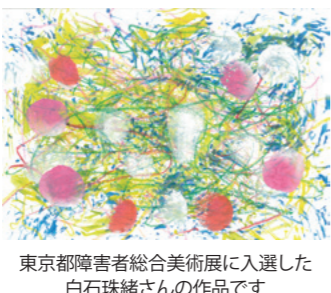
施設長 阿久津 庄司

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

この2年は常に新型コロナウイルス感染症ありきの事業運営となり、ご利用者様にとって楽しみも半減で心苦しく思っています。

昨年9月末に緊急事態宣言解除後、徐々に「日常」が戻りつつある中でまた変異株(オミクロン)が騒がれだして、今年も落ち着かない一年になるのかという不安も抱えつつ、目黒本町福祉工房は、各事業ごとの目的を念頭に「根拠のある適切な支援を提供できる集団」を目指し、

ご利用者様が主役となれるよう日々精進してまいります。



東京都障害者総合美術展に入選した白石珠緒さんの作品です



「めぐろ区議会だより」の表紙にご利用者様と干支土鈴が紹介されました

すまいる高井戸

センター長 春山 陽子

令和3年度は、新しく緊急時対応計画作成の業務を、杉並区から受けました。これは、障害のある方の介護者が急な病気や亡くなった時(緊急時)に、ご本人が安全に生活できるように、事前に計画を立て、準備をしていくものです。サービスを利用している方は、ご利用の特定相談支援事業所の相談支援専門員が作成し、すまいるは、サービスを利用されていない方の作成と支援を行っています。

また、4月より杉並区が立ち上げた基幹相談支援センター(ウエルファーム杉並3階)と緊急時の対応の連携や地域の虐待防止(虐待対応窓口)と一緒に取り組んでいきたいと思っています。今年もよろしくお願ひいたします。

ピヨピヨおうちえん

マネジャー 大上 茂樹

12月末にはピヨピヨ両園とも、クリスマス会を開きました。

会の最後にはサンタクロースが登場です。子どもたちは目を見開き、瞬きを忘れてサンタを見つめ、貰ったプレゼントを大切に握りしめていました。

また、調理の先生が心を込めて作ったサンタやトナカイをアレンジした食事やケーキなど、一年の締めく



クリスマス会ではパーティランチと手作りケーキがふるまわれました

くりの楽しい思い出となりました。

短い休みが明け、新しい年を迎えて子どもたちはまた元気に活動を始めています。皆様には今年もいつもの通りあたたかく見守って頂ければ幸いです。